



	機能	利点
インプット	.jpg .jpeg 形式の空撮画像	☑ 有人または無人の空中プラットフォームから撮影した垂直または斜め画像を処理 (必須: 0° - 45°; 推奨: 10° - 35°)
	同じプロジェクトでの複数カメラサポート	☑ 異なるカメラからの画像でプロジェクトを作成し、一緒に処理
	画像の位置情報とオリエンテーションを.csvまたは.txtでインポート	☑ 画像の位置情報とオリエンテーションをテキストファイル(.csv/.txt)でインポート
	グラウンドコントロールポイント (GCPs)	☑ グラウンドコントロールポイントをインポート、マーキングし、プロジェクトの絶対精度を向上
	GCPs マーキング	☑ Pix4DmapperからのGCPマーキングをPix4Dmaticへインポート
	既知の座標参照系サポート	☑ 既知の座標系ライブラリーからEPSGコードを選択
	ジオイドサポート	☑ 最も一般的に使用されているジオイドモデルをサポート
	任意座標系サポート	☑ ローカルまたは現場特定の座標系でのGCPを含んだプロジェクトのジオリファレンス
処理	マルチプロセッサ CPU + GPU サポート	☑ CPUコアとスレッド及びGPUのパワーを利用して処理スピードを高速化
	バックアップメカニズム	☑ 予期しない現象によりPix4Dmaticを停止したときにも作業内容が失われることのない自動バックアップメカニズム
	キャリブレーション	☑ 「画像スケール」と「キーポイント」のパラメータを定義し、カメラ内部パラメータ (例: 焦点距離、オートコリメーションの焦点、レンズ歪み) とカメラ外部パラメータ (位置、オリエンテーション) をキャリブレーションで最適化。
	再最適化	☑ GCPまたはMTPに基づいてカメラの内部と外部パラメータを再最適化し、再構築の品質を向上
	AutoGCP	☑ 既知の形状の標点ターゲットを自動的に検出し、マーキングの工程を加速
	高密度点群	☑ 点群の「密度」と「マッチの数」のパラメータを定義し、キャリブレーションで生成された低密度点群に基づいて高密度点群を生成
	数値表層モデル(DSM)	☑ 「解像度 cm/px」を定義し、「サーフェス均一化」を「フィルター半径中央値(px)」と有効化し、「補間」を有効化して数値表層モデルの生成
	オルソモザイク	☑ 数値表層モデル(DSM)と画像を基にオルソモザイクを生成
rayCloud	品質レポート	☑ 品質レポートで処理工程ごとに再構築の品質を評価
	プロジェクト可視化	☑ 最適化されたカメラ位置、自動タイポイント、高密度点群、数値表層モデル、オルソモザイクの品質を視覚的に確認
	GCPs	☑ オリジナル画像と3D情報のどちらも活用することでGCPを最高精度でマーキング
	チェックポイント	☑ プロジェクトの絶対精度を確認するために、オリジナル画像と3D情報を同時に使用し、チェックポイントを最高精度でマーキング
	マニュアルタイポイント (MTPs)	☑ マニュアルタイポイントを作成、マーキングしてプロジェクトのキャリブレーションを改善
	変更を元に戻す (Undo) / やり直す (Redo)	☑ ステップを失くすことなくアクションをUndo/Redoすることが可能
	履歴	☑ すべての実行作業は、履歴パネルで確認可能。プロジェクトのどの段階へでも作業に戻すことができ、この際、実行された他のステップは履歴として維持される
	ステータスセンター	☑ ソフトウェア上での処理や作業時に起きている内容のより詳細な情報



エクスポート	高密度点群 (.las)	☞	生成された高密度点群を.lasファイル形式でエクスポート。
	数値表層モデル (.tiff)	☞	生成した数値表層モデルを単一の.tiffまたはタイルでエクスポート。ファイルの圧縮率を選択。LZW圧縮可能
	オルソモザイク (.tiff)	☞	生成したオルソモザイクを単一の.tiffまたはタイルでエクスポート。ファイルの圧縮率を選択。LZW圧縮可能
	品質レポート	☞	品質レポートをエクスポートしてプロジェクトの精度と品質を確認
	Pix4Dsurveyへ直接エクスポート	☞	処理後のPix4Dmaticのプロジェクト(.p4m)をPix4Dsurveyへ円滑にエクスポート。この際に使用されるPix4D独自の.bpcファイル形式はPix4Dsurvey内での大規模な点群のロードと編集に最適化されています。
言語	言語オプション	☞	英語、日本語

ハードウェア



CPU: Quad-core または hexa-core Intel i5.



GPU: OpenGL 4.1 以上をサポートする NVIDIA GPU



ディスクスペース: 80 GB フリースペース (20MPの画像2000~5000枚を処理する場合). 160 GB フリースペース (20MPの画像5000~10000枚を処理する場合).



RAM: 32GB (20MPの画像2000~5000枚を処理する場合). 64GB (20MPの画像5000~10000枚を処理する場合)



OS: Windows 10, 64 bit または macOS Catalina.